選考結果総括表

府省庁名 外務省

役職		現任者				任命予定者			選考経過
		氏名	年齢	当初就任 年月日	前職	氏名	年齢	前職	
(独)国際協力機構	理事長	北岡 伸一	73	H27.10.1	国際大学学長 国立大学法人政策研究大学院大学学長特別補佐・特別教授	田中 明彦	67	国立大学法人政策研究大学院大学学長	応募総数 16名 ↓ 書類選考 ↓(4名) 面接 ↓(4名) 優先順位を付した情報を踏まえ、任命権者が選任
(独)国際交流基金	理事長	梅本 和義	70	R2.10.1	内閣官房 TPP 等政府 対策本部首席交渉官 [OB]	再任			応募総数 17名 ↓ 書類選考 ↓(3名) 面接 ↓(3名) 優先順位を付した情報を踏まえ、任命権者が選任

※ 公務員OB該当者は、現任者及び任命予定者の「現(前)職」欄に[OB]と記載すること。

独立行政法人国際協力機構役員名簿新旧対照表

公募	現任者						就任(予定)者			任命権者	発令(予定)日	
	役職	氏名	年齢	当初就任年月日	任期	任期満了年月日	前歴	氏名	年齢			前歴
	理事長	北岡 伸一	73	H27.10.1	- ※1	R4.3.31	国際大学学長 国立大学法人政策研究大学院大学学長特別補佐・特別教授	田中 明彦	67	国立大学法人政策研究大学院大学学長	外務大臣	R4.4.1
	副理事長	山田 順一	65	R2.5.23	4	R6.5.22	(独)国際協力機構理事				理事長	
	理事	井本 佐智子	54	R3.10.1	2	R5.9.30	(独)国際協力機構広報部長				理事長	
	理事	横山 正	57	R1.10.1	2	R5.9.30	財務省大臣官房企画調整主幹 【役員出向】				理事長	
	理事	中澤 慶一郎	58	R2.5.23	2	R5.9.30	(独)国際協力機構企画部長				理事長	
	理事	柴田 裕憲	58	R2.7.1	2	R5.9.30	経済産業省通商政策局審議官 【役員出向】				理事長	
	理事	小野寺 誠一	56	R3.7.1	2	R5.9.30	国土交通省総合政策局参事官(グローバル戦略) 【役員出向】				理事長	
	理事	中村 俊之	59	R2.10.1	2	R4.9.30	(独)国際協力機構ガバナンス・平和構築部長				理事長	
	理事	山中 晋一	60	R2.10.1	2	R4.9.30	(独)国際協力機構インドネシア事務所長				理事長	
	理事	植嶋 卓巳	62	H30.12.1	2	R4.11.30	(独)国際協力機構理事長室長				理事長	
	監事	町井 弘実	69	H26.1.1	※2	R4.6(見込み)	SGアセットマックス(株)コンプライアンス・オフィサー 【公募】				外務大臣	
	監事	早道 信宏	65	H29.7.1	※2	R4.6(見込み)	パナソニックヘルスケアホールディングス(株)内部監査室主幹 【公募】				外務大臣	
	監事	戸川 正人	60	H31.2.1	※2	R4.6(見込み)	(独)国際協力機構人事部長				外務大臣	

※1 理事長の任期は、中期目標の期間(H29.4～R4.3)の末日まで。

※2 監事の任期は、中期目標の期間の最後の事業年度についての財務諸表承認日まで。

独立行政法人国際交流基金役員名簿新旧対照表

役職	現任者						就任(予定)者			任命権者	発令(予定)日
	氏名	年齢	当初就任年月日	任期	任期満了年月日	前歴	氏名	年齢	前歴		
公募 理事長	梅本 和義	70	R2.10.1	- ※1	R4.3.31	内閣官房TPP等政府対策本部首席交渉官【公募OB】	再任			外務大臣	R4.4.1
理事	宮嶋 博子 (通称:柄 博子)	63	H27.4.22	4	R5.9.30	(独)国際交流基金統括役、執行委員兼企画部長				理事長	
理事	鈴木 雅之	59	R1.8.28	4	R4.3.31	(独)国際交流基金経理部長	再任			理事長	R4.4.1
理事	佐藤 百合	63	R3.10.1	4	R7.9.30	(独)日本貿易振興機構アジア研究所地域研究センター上席主任研究員				理事長	
監事 (非常勤)	鴨志田 文彦	70	H27.10.1	※2	R4.6 (見込み)	中外製薬(株)常務執行役員【公募】				外務大臣	
監事 (非常勤)	沼野 伸生	70	H27.10.1	※2	R4.6 (見込み)	(株)沼野Associates代表取締役(現職)【公募】				外務大臣	

※1 理事長の任期は中期目標(H29.4~R4.3)の末日まで

※2 監事の任期は、中期目標の期間の最後の事業年度についての財務諸表承認日まで。

(独) 国際協力機構 (JICA) 理事長選任理由

JICAの使命は、「信頼で世界をつなぐ」をビジョンに掲げ、開発協力大綱の下、人間の安全保障と質の高い成長を実現することを目的として、技術協力・資金協力等を通じて開発途上国への支援を行うことにある。

そうした組織にあつて、理事長の職には、その任務として、外務大臣の定める中期目標に基づき、本法人の基本的な運営方針を立案し、法人全体の業務を総理することが求められる。

本件公募に対しては、16名の応募があり、選考委員会による書類選考で4名に絞られた候補者について、選考委員会が面接を行った上で、優先順位を付して4名を任命権者である外務大臣に提示し、これに基づき、外務大臣が田中明彦氏を選任したところである。

任命理由は、田中氏が開発協力の実務や現場に関する経験及び深い見識に加え、外国の首脳級との関係を築くとともに、国内外の世論形成をリードする高い発信力を有していること、大規模な組織のマネジメント能力が十分あると評価されること、実務や現場とアカデミズムとの優れたバランス感覚を有していること、JICAをダイナミックに活性化することが強く期待されることなどが、選考委員会による書類選考及び面接を通じて最も高く評価されたことによるものである。今後の国際協力機構の運営に関し、高い成果を挙げることを期待される。

(了)

(独) 国際交流基金理事長選任理由

本法人の使命は、国際文化交流事業を総合的かつ効率的に行うことにより、我が国に対する諸外国の理解を深め、国際相互理解を増進し、及び文化その他の分野において世界に貢献し、もって良好な国際環境の整備並びに我が国の調和ある対外関係の維持及び発展に寄与することにある。

そうした組織にあつて、理事長職には、その任務として、外務大臣の定める中期目標に基づき、本法人の基本的な運営方針を立案し、法人全体の業務を総理することが求められる。

本件公募に対しては、17人の応募があり、選考委員会による書類選考で3人に絞られた候補者について、選考委員会が面接を行った上で、各候補者に対する評価を任命権者である外務大臣に提示し、これに基づき、外務大臣が梅本和義氏を選任したところである。

任命理由は、梅本氏が国際関係に関する幅広い知見と基金業務全般への理解、理事長として取り組むべき課題についての問題意識を有するとともに、海外事務所を有する組織を運営する上で不可欠な知識と調整能力を備えていることなどが、選考委員会による書類選考及び面接を通じて最も高く評価されたことによるものである。今後の国際交流基金の運営に関し、高い成果を挙げることに、外務大臣として大いに期待しているところである。

選考委員会の属性について

【外務省】

・独立行政法人国際協力機構

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

- ・ 大学教授 1名
- ・ 経済団体役員 1名
- ・ 公認会計士 1名

計 3名

・独立行政法人国際交流基金

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

- ・ 大学教授 3名
- ・ 弁護士 1名

計 4名